

# 新潟県の総合型地域スポーツクラブに関する研究

林 亮佑（新潟大学）

## 1. 目的

2000年9月に『スポーツ振興基本計画』が策定され、生涯スポーツ社会の実現に向けて2010年までに全国の各市町村に少なくとも1つ以上の総合型地域スポーツクラブ（以下、総合型クラブ）を育成することを重点目標とした。本研究の目的は、新潟県の総合型クラブの活動の体制とクラブが抱えている課題を明らかにし、今後のクラブ育成の可能性について考察することである。

## 2. 研究方法

### 1) 調査対象

- ①新潟県新潟市の総合型クラブ A氏
- ②新潟県村上市の総合型クラブ W氏
- ③平成29年度総合型地域スポーツクラブ研修会

### 2) 調査方法

#### (1) 文献調査

文部科学省の『スポーツ振興基本計画』、スポーツ庁の『総合型地域スポーツクラブに関する調査結果概要』等を用いて、総合型クラブ育成の経緯と現状を把握した。

#### (2) 聞き取り調査

新潟県の2つの総合型クラブを対象に聞き取り調査を実施した。また、新潟県の上越市体育協会が主催する「平成29年度総合型地域スポーツクラブ研修会」に参加し、上越市の総合型クラブの実態を調査した。

## 3. 結果と考察

### ①新潟県の総合型クラブの活動の体制

スポーツ庁の調査によると、2016年7月現在、総合型クラブは全国の市町村の80.8%に設置されている。新潟県では、47のクラブが創設されており、30ある市町村の内、22の市町村で活動がすすめられている。2010年には、総合型クラブの創設や運営、スポーツ活動全般について支援を行う組織である新潟県広域スポーツセンターが創設され、活動を展開している。

また、新潟県の縦に広いという地理的特性から、新潟県の下越地方、中越地方、上越地方の3つの地域ごとに「下越ねっと」、「中越エイド」、「上越SCネット」という連絡協議会を設けて、情報共有の場を設け、連携をとっている。

### ②地域課題の解決に取り組む総合型クラブ

新潟県村上市の総合型クラブのクラブマネージャーであるW氏は、「運動実施率を向上させるためには、むしろ“スポーツからの脱却”が必要である。」と述べており、クラブとしても「地域課題の解決」をテーマに幅広い活動を展開している。

今後の課題としては、クラブ育成が開始してから15年以上が経過した現在、今までクラブで培ってきたノウハウを次の指導者へ引き継ぐことが重要になってくるとのことである。

## 4. 結論

現在、新潟県では47のクラブが活動しており、新潟県広域スポーツセンターや各地域の連絡協議会を通じた連携体制も整い、情報共有や活動促進が図られている。

聞き取り調査を行った2つのクラブにおいては、スポーツや運動をただ発展させる目的だけではなく、クラブとクラブ周辺の地域の実情に合わせた地域課題の解決を目的とした活動を行っていることが分かった。今後も多くの総合型クラブがスポーツだけではなく、多目的な事業を展開していくことが期待される。

総合型クラブの育成事業が始まってから20年以上が経過した現在、クラブの育成は量的増加から質的向上へとシフトしてきていると考えられる。そういった時代背景に即して、既存のクラブ活動をより活発にする取り組みを新潟県全体として行っていく必要があるだろう。

## 5. 主な参考文献

- 1) スポーツ庁 “平成28年度総合型地域スポーツクラブに関する実態調査結果概要” pp2~3 2016
- 2) 文部科学省 “スポーツ振興基本計画” 2000